

別紙
回号

秘第百三十四號ヲ以テ既報。但、其後事業主側ニ於テハ
数回ニ亘リ役員會日ヲ開催シテ對策協議中ニ於テハ
其ノ成案ヲ見レリ。以テ去ルニ九日別紙回答書ヲ濶聯
合會主事笠島末由ニ交付セリ。

右ニ付笠島ハ不日濶各支部長會ヲ開催シテノ諾否ニ
付協議業主側ニ回答ヲ爲ラヌ。若シ各職工ノ意向ヲ
内便スルニ漸次敏テ忙期ニ向ヒルハ今日如何ニ無理ナル
要求ヲ爲ラヌモ業主側ハ罷業不意業ヲ怖シテ必スヤ要求
ヲ認容スルニ至ルハハト稍硬論ヲ爲ラモアリ之ニ及レ業
主側ニ於テハ酒造界ハ本年ハ釀造高三割減ヲ唱ヘラハ、
今日此ノ上ハ一步モ讓歩スル能ハスト稱シ居ルヲ以テ又
部長會議ノ結果如何ニ依テハ再ヒ要求スルヲ提出ス
ルニ至ルヤモ難斗注意中ナリ
右及申(通)報(房)カレ

別紙

回答書

大正十二年四月一日決定ニ係ル製樽職工待遇條件ヲ
左ノ通リ改正ス

第一条 賞典及年當

第一項 精勤賞典

繁忙期間中休業三日以内ニシテ滿一年ヲ通シ精勤シ
タルハ毎年十二月末ニ賞典トシテ金參拾円ヲ支給ス
但シ助勤ノ爲メ出入スルトアルモ本項ノ精勤ニ影響
セズ

前記精勤者ニシテ雇主ノ都合ニ依リ中途解雇シ
タル場合及ビ本年度ニ限リ月割ヲ以テ支給ス

雇入以來精勤者ニシテ十一月ニ至ルモノハ年ニ滿タルモノ